

保育園統廃合保護者説明会（第八保育園） 9月28日 参加者25人

（質問）：我が子（年中）を見て、0歳～5歳頃は人間関係をつくっている時と思う。

学校の先生から指摘が出されていると言うことはどんなことか。

（回答）：人間関係が深まる小規模園の良さの反面、固定してしまうこともある。マイナスに働くと難しいことになる。5～6人の中、気が合わない時、逃げ場がない。大勢いると他に行くことが出来る。

（質問）：これだけの資料を用意してもらった。第五保育園のお母さんの意見には、先生も一緒に第八へ来てほしいとあった。環境が変わるので、第八保育園の先生も残っていてほしい。

一年生の子を持つ母親ですが、担任に小規模園から通っているが問題はあるか聞いたがと言われた。

（回答）：できるだけ変化を少なくする努力をしていく。小規模のメリットを残し、生かしていくと考えている。

（質問）：第八保育園の受け入れ人数はどのくらいになるか。第五保育園から何人くるのか。

（回答）：現在の第五保育園の状況から60～70人位、第八保育園が20人とすると80～90人。来年になるともう少しハッキリしてくる。第八保育園へ上がる時は、第2保育園が出来ているので調整ができる。

（質問）：来年20人に10人入って来たとして、クラスはどうなるか。

（回答）：30人以下は混合保育という町の考え方。状況によっては年齢別クラスや混合保育など組み合わせていく。

（質問）：第五保育園が新築されたとき、第五保育園の人が戻る。第八保育園に残る人が第五保育園と一緒にいていってしまい、残りが数人だったらどうなるか。町は、みんな第五保育園へ行ってくださいと言わないのか。

（回答）：町は今回説明会で示したスケジュールに従い、23年から3園スタートということで進めている、それまでは各園とも運営していくので、22年までは残ってほしいという考え方である。

（要望）：自分の子が最後の卒園児となる予定。一人一人を大切にす、保護者との連携等書いてあることは簡単だが、小さい保育園で良かったと思っているので書かれていることを大事にしてほしいという気持ちである。

（回答）：保護者会とも話しながら、保育士の教育にも力をいれていく。保護者とのコミュニケーションをとっていく。先日も保育士対象に意識改革と資質の向上について意志統一を図るため研修会を実施したところである。

（質問）：あり方検討委員会の時は、25年だった。2～3年の短縮となっている。急ぐあまりに難しい面も出ている。役員さんに伝えることが、途中で途切れてしまったこともある。前もって十分時間を与えてほしい。役員がやり玉にあがってしまうことのないようにしてほしい。とにかく早すぎるとしか言いようがない。前倒しするほどに、町はお金が助かるのはわかるが。安全に問題があるのではないか、

安定した人間関係がもてないことを強く感じている。あり方検討委員会では、第二保育園は改修と言われたが改築で、なぜこんなに急ぐのか。

(回答)：今までが一番忙しい思いをした時期で、役員さん方にも大変苦勞をかけたが、方針も決定し、少し落ち着いてきたかなと思っている。過去の第四保育園と第七保育園の統廃合の時と違って、保護者やだっこの会の人たちや皆さんの考えを幾度となくお聞きして進めてきている。安心安全で質の高い良い保育園づくりをしたいという気持ちなので共々よろしくお願ひしたい。

(質問)：園長が替わると保育園が変わる。統廃合は当然と思う。感情論だけではすまない。平成22年に第五保育園が出来た時、第八保育園を残す意味があるのか。第五保育園が出来た時、第八保育園は廃園するのがチャンスではないか。町屋敷が4年間0人となる。地域の人にどう説明していくか。

(回答)：原則的には町のスケジュールでは、平成22年までは全園運営するという方針で進めている。あくまでも町の方針であり、地元の人達や保護者会の皆さんの総意であるならば、町としても考慮しなくてはならないと考える。